



風景写真イベントレポート

# 『風景写真』主催 鈴木一雄×風景写真“塾” in 小国町 2009 [春]

5月15日(金)ー5月17日(日)  
山形県小国町



[講師]  
鈴木一雄

## Schedule

<b>15日(金)</b>
13:00 開校式
▼
セミナー1
▼
温見平
▼
セミナー2
▼
19:10 夕食
<b>16日(土)</b>
樽口峠
▼
7:30 朝食
▼
飯豊山荘方面へ
▼
11:30 昼食
▼
黒沢峠
▼
添削指導
▼
19:00 夕食
<b>17日(日)</b>
健康の森
▼
7:30 朝食
▼
飯豊山荘方面へ
▼
11:30 閉校式

ブナの新緑が鮮やかな5月中旬、恒例の小国町での風景写真塾が開催されました。初日の開校式直後に行われたセミナーでは、鈴木さんがスポット測光の測り方や補正值について詳しく解説した後、ブナやミズナラの大木が群生する温見平で実践開始。再び宿舎に戻ってからは、撮影全般についてのQ&A方式のセミナーを行い、皆さんがふだん疑問に思っていることについて、鈴木さんが丁寧に答えてくれました。

翌日の早朝は、飯豊連峰の眺望が広がる樽口峠へ。期待した朝焼けには出合えませんでした。麓から霧が幾度となく湧き上がり、

そのたびに歓声とともにシャッターを切る音があちらこちらから聞こえてきました。その後は、玉川の澄んだ水が美しい渓谷や新緑の山腹、古の石畳が敷き詰められた峠道を撮影。夕方から鈴木さんが参加者の方の写真を添削指導して、二日目を終えました。

最終日は写真塾の期間中、初めての雨。ブナ林では幹がしっとりと濡れて独特の風情になったうえ、霧も立ち込めてフォトジェニックな光景に。皆さんは、前日、前々日とは違ったブナ林の表情を夢中で撮影して、三日間の小国写真塾を締めくくりました。

5/15



(左) 鈴木さんの講義に熱心に耳を傾ける参加者の皆さん。  
(右) 橋上での撮影。新緑と清流が斜光に輝いていました。

5/16



(左) 一人一人のフレーミングを、丁寧にチェック。  
(右) 参加者の方から露出について質問され、スポットメーターで測光する鈴木さん。



間近に見える残雪の飯豊連峰と、みずみずしい新緑。樹齢250年から300年のブナやミズナラの大木が数多く見られます。

5/17



(左) 皆さんが見上げる先には、ブナの大木が。  
(右) 雨に濡れた新緑のブナ林。そこに霧が立ち込めました。



樽口峠から望む飯豊連峰の大パノラマ。霧が次々と姿を変えて湧き上がり、雄大な風景に変化をつけてくれました。

Oguni

# 風景写真“塾”WEB講評会

『風景写真』主催

鈴木一雄×風景写真“塾”in小国町 2009 [春]

期間：2009年5月15日（金）－17日（日）

場所：山形県小国町



講評：鈴木一雄

5月に開催された小国町での風景写真“塾”。今回も巨木のブナや霧湧く飯豊連峰、古の峠道など、数多くの出会いがありました。参加者の皆さんが期間中に撮影した写真の中から、講師の鈴木一雄さんが一枚を選んでコメントする「WEB講評会」。小国の美しい風景と、鈴木さんの講評をご紹介します。

\*小国風景写真“塾”の撮影会レポートは、隔月刊『風景写真』7-8月号153ページにも掲載しています。



しめやかに 池田和子さん

ブナの幹肌を伝う雨筋の様子が素敵な作品です。ガスもうっすらと立ち込めて、森の風情がよく出ています。大胆なフレーミングが力強く、池田さんの狙いが明確に感じられます。



ここにいる 齊藤すみ子さん

何本にも枝分かれた踊っているような木を主役にして、背景には雪の残った飯豊連峰が見えています。このような撮り方ができるのは、心の持ち方が柔軟な証拠です。見ていて心地良い作品です。



残雪 大寺春美さん

明暗差のある露出の非常に難しい場面ですが、残雪の飯豊連峰がしっかりと描かれています。斜光線で捉えているので立体感が出ました。手前の木立と飯豊連峰を対比させたことで、遠近感も感じられます。



山霧這う 浅野武雄さん

丘を這い上がってくる霧の表情がとてもいいですね。画面構成が非常にしっかりとされていて、霧と飯豊連峰を対比させたことでスケール感も感じられます。露出が難しい場面ですが、上手に表現しています。



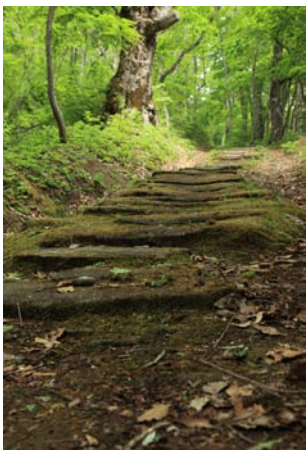
雪代水の早瀬 齊藤紀子さん

広角レンズを使って、高速シャッターで雪解け水の躍動感を表現したのが成功しています。ISO感度の設定とシャッター速度の選択が最適で、背景もしっかりと描写されました。主題が明確な作品です。



月明かり 柳沼秀雄さん

未明の飯豊連峰を月明かりでしっかりと捉えていて、青白い画面から幽玄の雰囲気を感じられます。月と飯豊連峰をバランスよく配置したフレーミングが大変いいと思います。絵画のような世界ですね。



先人達の道 関口俊夫さん

先人が苦労して歩いた石畳を、しっかりと受け止めて撮っているのがいいですね。石畳をどんと真ん中に入れ、巨木のブナを奥に脇役として入れた画面構成がいいと思います。それによって主題がはっきりとしました。



無題 大寺憲正さん

画面下の木立を中心にして、わき立つ朝霧と残雪の飯豊連峰を入れて画面を構成しているのがポイントです。縦位置で少しアップ気味に撮影したため、画面から緊張感と高さを感じられます。



凜と 小原ハルミさん

広角レンズの使い方がうまく、ブナの立ちつくす雄姿をしっかりと力強く捉えています。カメラ位置を非常にいいところに設定しました。半逆光の状態にも関わらず、新緑や幹肌の色合いを上手に引き出しています。



飯豊山からの贈り物 村井文夫さん

霧の湧き立つ光景がエネルギッシュで力強い反面、手前の川は穏やかさがあって、それらをうまく組み合わせで表現しています。左側の道路を含めて、雄大な光景を素直に撮った村井さんのおおらかな気持ちを感じられます。